

計画事業番号	00404	事務事業名	有害鳥獣駆除対策事業	担当部署	市民環境部環境課	電話	4111
--------	-------	-------	------------	------	----------	----	------

## 【基本情報】

事務区分	■自治事務 □法定受託事務		根拠法令等	鳥獣の捕獲及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律、特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律、北広島市鳥獣捕獲許可取扱要領			
事務事業開始年度	平成24年度		個別計画等	北広島市環境基本計画(H23～H32)			
〃 終了予定年度							
ソフト・ハード区分	ソフト事業	会計区分	一般会計	補助単独区分	補助	新規継続区分	継続

## 【事業概要】

1 総合計画体系	(第 3 章) 美しい環境につつまれた安全なまち	
	(第 1 節) 環境の保全	
	(施策 3 ) 自然環境の保全	
2 対象	生活環境、農作物及び生態系に被害を及ぼす有害鳥獣や外来種生物	
3 目的と内容	農業被害及び生活環境被害の防止を図るため、有害鳥獣の駆除を実施するとともに北海道と連携して特定外来生物である「アライグマ」の防除を実施する。	
4 実施内容(手段)	28年度まで	<ul style="list-style-type: none"> <li>○有害鳥獣の駆除(エゾシカ、カラス、キツネ、ヒグマなど)</li> <li>○特定外来生物の防除(アライグマ)</li> <li>○有害鳥獣捕獲許可証・従事者証の交付(平成12年度から権限移譲を受けている)</li> </ul>
	29年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>○昨年度と同様、下記の事業を実施する。</li> <li>○有害鳥獣の駆除(エゾシカ、カラス、キツネ、ヒグマなど)</li> <li>○特定外来生物の防除(アライグマ)</li> <li>○有害鳥獣捕獲許可証・従事者証の交付(平成12年度から権限移譲を受けている)</li> </ul>

## 【事業の計画・実績】

平成28年度		平成29年度	平成30年度	平成31年度
計画	実績	計画	計画	計画
有害鳥獣の駆除 特定外来生物の防除 有害鳥獣捕獲許可証等の交付	有害鳥獣の駆除(カラス1,436羽、キツネ29頭、エゾシカ78頭) 特定外来生物(アライグマ89頭) 有害鳥獣捕獲許可証・従事者証の交付(253件)	有害鳥獣の駆除 特定外来生物の防除 有害鳥獣捕獲許可証等の交付	有害鳥獣の駆除 特定外来生物の防除 有害鳥獣捕獲許可証等の交付	有害鳥獣の駆除 特定外来生物の防除 有害鳥獣捕獲許可証等の交付

## 【評価結果・評価コメント】

総合判定		平成30年度に向けた具体的な方向性	評価区分
前年度2次評価	現状継続	現状継続とする。	「拡大」 「現状継続」 「要検討」 「見直し」 「統合」 「休止・廃止」 「終了」
1次評価	現状継続	カラス、キツネ、エゾシカは、市民の生活環境や農作物に被害を出しており、駆除の要望が多いため、継続して駆除を実施する。また、アライグマは特定外来生物であり、道及び市町村が協力して行う広域駆除を継続する。	
2次評価	現状継続	現状継続とする。	

【事業費の推移】

(単位:千円)

			平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
決算額、当初予算額又は推進計画額			207		460		467		467	
事業額	直接事業費	国支出金	0		0		0		0	
		道支出金	207		444		397		397	
		地方債	0		0		0		0	
		その他特財	0		0		0		0	
		一般財源	0		16		70		70	
	① 合計	207		460		467		467		
人件費 (左側:一般、 右側:再任用)	② 人数(年間)	0.45	0.00	0.45	0.00	0.45	0.00	0.45	0.00	
	③ 1人当り年間平均人件費	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500	
	④ =②×③	3,780	0	3,780	0	3,780	0	3,780	0	
総事業費①+④			3,987		4,240		4,247		4,247	

【評価指標】

指標名			単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
活動指標	①有害鳥獣捕獲許可証・従事者証交付数	目標値	件	200	200	200	200
		実績値		253			
	②カラスの駆除日数	目標値	日	15	15	15	15
		実績値		15			
③アライグマの箱わなかけ日数	目標値	日	400	500	500	500	
	実績値		644				
④	目標値						
	実績値						
成果指標	① カラス捕獲数 【指標の定義(算式等)】	目標値	羽	1200	1500	1500	1500
		実績値		1436			
	② アライグマ捕獲数 【指標の定義(算式等)】	目標値	頭	30	80	80	80
		実績値		89			
	③ エゾシカ捕獲数 【指標の定義(算式等)】	目標値	頭	40	80	80	80
		実績値		78			

【評価項目】

チェック項目	評点	コメント
妥当性 ・税金を使って行うこと(補助すること)が妥当ですか？ ・上位の施策への貢献度は大きいですか？ ・特定の団体の利益に偏っていませんか？ 【評点欄】3妥当、2どちらかという妥当、1妥当でない 【コメント欄】理由を記入	3	農業被害及び生活環境被害の防止を図るために実施しているものであり、その利益が特定の個人や団体に偏っておらず、市民に広く関わるることであることから妥当である。
達成度 ・計画どおりに成果があがっていますか？ 【評点欄】3あがっている、2どちらかといえばあがっている、1あがっていない 【コメント欄】理由を記入	3	捕獲数については目標を上回る実績である。また、農業被害等が出ていることから、今後も継続して実施する必要がある。
成果向上 ・成果が現状よりも向上する可能性がありますか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】成果を向上させるための方策、代替策を記入	2	エゾシカについては、捕獲数が年々増加傾向にある。また、アライグマについては、平成28年度が過去最高の89頭となった。
経済性 ・現在の成果を落とさずにコスト(予算・所要時間等)を削減するための方法はありませんか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】コストを削減するための方策、補助金の減額・削減について具体的に検討し、検討内容を具体的に記入	3	現在の成果を維持し、農業被害等を防止するためには、地元猟友会(広猟会)に一定程度の出勤を要請しなければならない。

【法律で実施が義務付けられている事務事業か】	<input type="checkbox"/> 法律の義務付けあり	<input checked="" type="checkbox"/> 法律の義務付けなし
------------------------	------------------------------------	-----------------------------------------------

【民間活力の活用性評価】 (事業担当部局が評価)	<input checked="" type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働が可能である。 <input type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働の可能性はない。
-----------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------